

みずほCustomer Desk Report 2017/06/26 号(As of 2017/06/23)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.38 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.30	1.1150	124.11	0.9718	1.2679	0.7541
SYD-NY High	111.43	1.1209	124.70	0.9720	1.2745	0.7583
SYD-NY Low	111.16	1.1145	124.04	0.9676	1.2677	0.7539
NY 5:00 PM	111.30	1.1193	124.60	0.9692	1.2720	0.7565
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.035/7.465		△25RR	0.910	Yen Call Over	
NY DOW	21,394.76	▲2.53	債券市場	日本2年債	-0.0980	0.1bp
NASDAQ	6,265.25	28.56		日本10年債	0.0570	▲0.1bp
S&P	2,438.30	3.80		米国2年債	1.3404	0.0bp
日経平均	20,132.67	22.16		米国5年債	1.7565	▲0.2bp
TOPIX	1,611.34	0.96		米国10年債	2.1423	▲0.5bp
シカゴ日経先物	20,130.00	▲5.00	為替市況	独10年債	0.2550	0.3bp
ロンドンFT	7,424.13	▲15.16		英10年債	1.0310	1.6bp
DAX	12,733.41	▲60.59		豪10年債	2.3710	▲0.5bp
ハンセン指数	25,670.05	▲4.48		USD/CNH	6.8363	▲0.0008
上海総合	3,157.87	10.42		ドルインデックス	97.26	▲0.33
USDJPY 3M Vol	8.13	▲0.26%	商品市況	CRB指数	167.744	1.24
USDJPY 6M Vol	8.62	▲0.21%		NY金	1,256.40	7.00
EURJPY 3M Vol	8.09	▲0.09%		WTI	43.01	0.27
EURJPY 6M Vol	8.82	▲0.06%		Dubai Spot	44.15	0.51

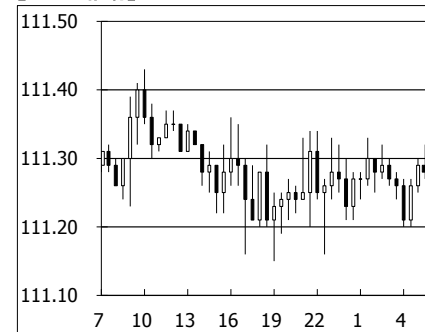
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月23日	16:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンボジット)	6月 59.3/53.7/56.1	59.0/55.4/57.2
	17:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンボジット)	6月 57.3/54.7/55.7	56.8/56.1/56.6
	22:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンボジット)	6月 52.1/53.0/53.0	53.0/53.5/-
	23:00	米 新築住宅販売件数	5月 610K	590K
6月24日	0:15	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	1:40	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-
	3:15	米 パウエルFRB理事 講演	-	-

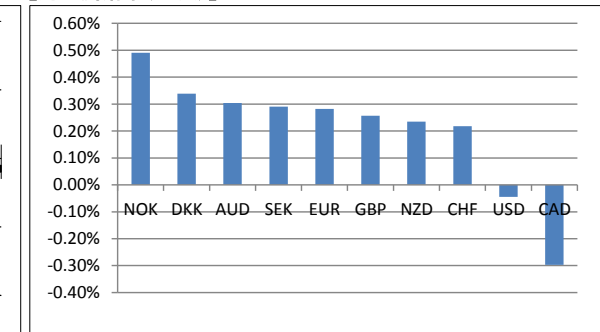
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月26日	8:50	日 日銀金融政策決定会合(6/15-16)における主な意見	-	-
	13:20	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	17:00	独 IFO景況感/期待/現況指数	6月 114.5/106.4/123.2	114.6/106.5/123.2
	21:30	米 耐久財受注/除く輸送用機器・速報(前月比)	6月 -0.6%/0.4%	-0.8%/-0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80-111.70	1.1150-1.1250	124.00-125.00

【マーケット・インプレッション】

先週末金曜日の海外時間のドル円は小幅推移。インフレが低水準に留まるとの観測から長短金利差が約10年ぶりの低水準近辺で推移し、ドルインデックスは軟調に推移。ドル円も材料感に欠ける中、日中値幅が27銭に留まる等、小幅レンジ推移が継続。本日のドル円相場は、前日に続き方向感のないレンジ推移を予想する。足元のドル円相場のボラティリティは下落基調が継続し、年初来安値水準に位置しており、今週は特段重要イベントも予定されていないことから、週を通じて小幅レンジ推移となろう。

東京	東京時間朝方に北朝鮮がICBM(大陸間弾道ミサイル)に関わるロケットエンジンについて新たな実験を実施したとの報道が流れるも為替相場への影響は限定的。東京時間のドル円は111.30レベルでオープン、実質五・十日となるこの日、本邦勢による実需フローが散見される中でドル円は仲値にかけて上昇し、高値111.43をつける。堅調推移する日経平均を模目ドル円はやや材料難となる中でじり安の展開、結局111.25レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.25レベルでオープン。特段の目新しい材料に乏しい中、一時111.17まで値を下げる場面が見られるも、動意付展開とはならず小幅推移に終始し、結局111.24レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外時間は新規材料に乏しい中、ドル円は111円台前半での動意に欠ける推移となり111.24レベルでNYオープン。朝方は米金利の低下を受けてドル円は111.16まで下落。しかしロンドン時間につけた同水準を意識されたことや、その後発表された米5月新築住宅販売件数が予想を上回ったことなどを背景に111.32まで上昇。NY時間昼前にブラード・セントルイス連銀総裁(2017年投票権なし)が前日に続きインフレに対する懸念などハル派な見解を示したほか、屋過ぎにはメスター・クリーブランド連銀総裁(2017年投票権なし)が引き続き緩やかな利上げをサポートすると発言したが、双方とも市場の反応は限定的となりドル円は111.25付近での狭いレンジでの推移が続いた。引けにかけては、前日比マイナス圏に転じたNYダウが下げ幅を広げたことや、米金利の低下を受けてドル円は111.20まで下落。しかし新規材料に欠く中で大きな動きは見えず、結局111.30レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.1172レベルでNYオープン。朝方はユーロドル上昇を受けてユーロドルも連れ高となり、ロンドン時間高値の1.1188を上抜けるとこの日の高値となる1.1209まで上昇。しかし1.12台では積極的に上値を追っていく展開とはならず、その後は1.1200付近での推移が続き、結局1.1193レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 佐藤・鶴田